

健康長寿しまねに関連する協議会・委員会における検討課題と平成27年度の方向性及び主な取組

事業名（会議名）	課 題	平成27年度方向性、主な取組
栄養・食生活の取組 （食育・食の安全推進協議会）	①若い世代（20～30歳代）の食への関心強化 ②食育関係団体相互の連携・協力による食育推進力の充実強化 ③食に関する体験の場づくりの推進	○健康な食の啓発（朝食・野菜摂取、うす味食習慣） ○関係団体相互の交流 ○体験型イベント、啓発活動の推進
たばこ対策 （たばこ対策推進会議）	①受動喫煙防止対策への取組 ・ホテルなどの宿泊施設への対策推進（現状把握ができていない） ・事業所や大学、専門学校への対策推進（現状把握ができていない） ・観光地等における禁煙場所、喫煙場所のわかりやすい表示への取組 （受動喫煙防止の環境づくりができていない） ②禁煙サポートへの取組 ・各保険者でおこなう健診時の禁煙指導の推進（取組状況が把握できていない）	○各事業所等へのたばこ対策推進宣言の波及 ○宿泊施設、大学、専門学校等の現状調査と対策の推進 ○ステッカー表示の検討 ○各保険者への現状調査 ○禁煙支援薬局の普及啓発の推進
歯と口腔の健康づくり （参考：歯と口の健康づくり推進協議会）	①妊産婦を含む働きざかり世代の歯科健診受診拡大 ②糖尿病の医科歯科連携	○歯科保健に関する実態把握 ○県民向け各種啓発、体験の提供 ○関係機関と連携した歯科保健活動の推進 ○歯科保健医療推進のための基盤整備
糖尿病予防 （糖尿病予防対策会議）	①特定健診保健指導の実施率の向上 ②治療中断の防止 ③重症化防止のための病病連携、病診連携の体制整備	○県民向け啓発活動の展開 →未受診の解消、治療中断の防止 ○糖尿病予防・管理指針（第3版）の周知
脳卒中予防 （脳卒中委員会）	①島根県の死因の第3位。介護を必要となった原因疾患の第2位。 健康寿命の延伸を図る上で対策が必要。 ②壮年期男性の発症予防・再発予防の取組が必要 ・40～60歳代男性の発症率が同年代女性の2倍 ・3年までに再発する割合は50代が最も多い ③発症予防・再発予防としての高血圧対策が必要 （自分の血圧を知る、生活習慣の改善、特に減塩） ・発症者の7割が基礎疾患として高血圧を保有。年代別では40～50代で増加	○脳卒中発症者状況調査の実施による継続した発症状況の集計・分析の実施 ○「地域・職域連携健康づくり推進協議会」構成団体と連携して発症予防のチラシを活用した啓発を実施。（その他、協会けんぽ、市町村等でも活用） ○市町村・県等の関係者を対象とした研修の場の確保

事業名（会議名）	課 題	平成 27 年度方向性、主な取組
がん予防 （がん対策推進協議会 がん予防部会）	① がん検診受診率の低迷（胃がん、肺がん、女性特有のがん） ② 職場でのがん検診の啓発 ③ 職場で受ける機会のない者や被扶養者への働きかけ	働き盛り世代のがん検診受診率向上対策の推進 ○働き盛り世代に向けた普及啓発 ○職域団体、事業所と連携した取り組み
地域・職域連携健康づくり推進協議会	①働き盛りの青壮年には、運動不足、塩分の過剰摂取、喫煙、飲酒、メンタルヘルス、歯周病等様々な健康課題がある。 ②しかし地域では健康増進法、職場では労働安全衛生法等に基づき健康づくりが行われており、地域全体の健康状況の把握や退職後の継続した健康づくりの推進が課題。	○健康長寿しまね、圏域の地域・職域協議会等と連動した健康づくりの推進 ○26 年度協定を結んだ、協会けんぽ島根支部と連携した健康づくりの推進
【参考】すこやか親子しまね推進協議会	島根県の母子保健計画である「健やか親子しまね計画(H25～29 年度)」には5つの課題の掲げ、妊娠・出産期や小児・思春期を通じた親と子の心とからだの健康づくりを目指している。この取組は、島根県健康増進計画と方向性や目的・目標を共有し、一体となって推進している。 課題 1 思春期の保健対策の強化と健康教育の推進 課題 2 妊娠・出産に関する安全性と快適性の確保と不妊への支援 課題 3 小児保健医療水準を維持・向上させるための環境整備 課題 4 子どもの心の安らかな発達促進と育児不安の軽減 課題 5 小児期からの生活習慣病予防対策と歯科保健対策	国の新たな「健やか親子 21(第 2 次)」(H27～36 年度)の方向性を踏まえ、重点課題とされた「育てにくさに寄り添う支援」「妊娠期からの児童虐待防止対策」取り組む。 ・「島根県乳幼児健康診査マニュアル」の策定（子育て支援の視点と、望ましい生活習慣の確立・歯と口の健康の視点でポイントをまとめ、健診の質の向上を図る） ・妊娠期からの支援体制の構築及び支援の手引きの策定